

アメリカ留学体験談

自然科学研究科 芦名 駿

・留学の理由・目的

日本のものづくり産業がグローバル化へと進出していく中で、今後を担う技術者として海外経験が必要であると考え、留学をしようと決心しました。今回の留学は、2018年8月9日から2019年1月15日までアメリカのルイジアナ州にあるサウスイースタンルイジアナ大学で研究留学を行いました。

・留学先での学習・活動と生活環境

留学先では、授業の受講、研究および学会発表を行いました。授業に関して、研究に関する基礎知識に関する講義や、毎週の研究成果を英語でプレゼンテーションする講義を受講しました。日々行う研究の集大成として、物理学会で発表をしました。

生活について、研究室の仲間とシェアルームをし、日本食を作って皆で食事したり、一緒にゲームをしたりしました。外での食事はパンが多かったですが、自炊でご飯もよく食べました。留学先で一番気に入った料理はベトナム料理のフォーと生春巻きです。

・留学して学んだこと

海外に行く前は、海外の人は日本人を差別する、海外の料理は美味しくないと思い込んでました。しかし、実際に行くと多くの方は親切で、海外の料理は美味しかったので、自分の肌で何かを経験することは非常に大事なことであると感じました。

また、研究に関する知識はもちろんのこと、世界各国の文化、考え方の違いを学びました。自分の良い面、悪い面を客観的に見ることができました。

・語学どのくらい上達したか

まだ、TOEIC等の語学試験を受けていないため、どのくらい上達したか数値化はできませんが、留学前よりは話せて、聞いて理解できるようになったと思います。TOEICは3月中旬に受ける予定です。

・留学の薦め

海外に少しでも興味があるならば、絶対行くべきだと思います。後悔はしません。むしろ、行かなかった方が後悔すると思います。自分にとって留学が初めての海外だったので、外の世界を肌で感じることは非常に重要であると感じました。文化や考え方の違い、新しい発見、すべてが貴重な経験になりました。

・トビタテで留学して良かったこと

これから留学する個性的な仲間と交流できることが非常に良かったと思います。私の場合、今回の留学が初めての海外であったので、海外に行ったことのあるトビタテ生から有益なアドバイスがもらえて、非常に助かりました。事前研修中に世界で活躍する方の貴重な講演も聴くことができ、有意義なものとなりました。

・最後に

留学に少しでも興味があるあなた、すぐに行動してください。留学に関して、何かからすればいいか分からないなら、ネットで調べたり、留学交流推進課の方に聞いてみたりすると良いでしょう。そして、トビタテに応募しましょう！きっと、留学は人生の中での宝物となるでしょう。

